

## 2016年度 第1回スキルアップ研修会を開催

7月16日・18日の2日間の日程で(分散開催にて)松島フットボールセンター、松島文化観光交流館を会場に、東北地区・宮城県内の各種大会派遣に対応頂いている2級・3級審判員を対象とした「2016年度第1回スキルアップ研修会」を開催しました。16日は23名、18日は28名と多くの審判員に参加をいただきました。

今回は下記のカリキュラムの内容にて宮城県審判員がチームワークを高め一つになる事を目的とし研修会を実施しました。

シーズンも折り返し地点にあたり、参加頂いた審判員は意欲的に研修会に取り組む様子が伺え、残りの試合にむけて審判員が一つになる事が出来ました。

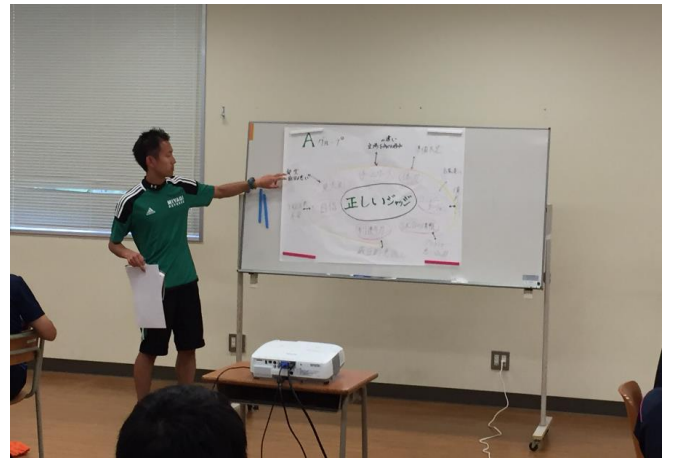
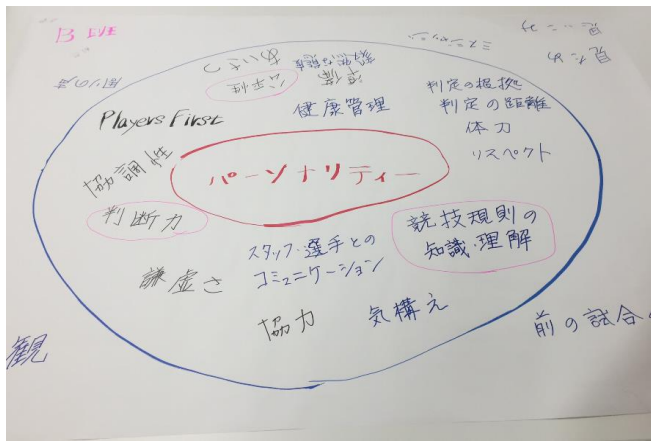
### 主なカリキュラム(2日間共通)

- 1、アイスブイク、チームビルディング
- 2、グループワーク テーマ「信頼される審判員になるために」
- 3、競技規則プレゼン ・相手を押さえる反則 ・FKマネジメント ・不用意と無謀の見極め  
・予期予測 ・オフサイド
- 4、プラクティカルトレーニング(ピッチでの実践的トレーニング)  
・FKマネジメント ・主審と副審の協力



### 大平 俊明 インストラクターコメント

今回の研修会には、県内の各種大会において主審、副審および第4審判として活動でいていただいているS2、S3級審判員を対象にS2、S3級の区別をせず合同開催として2日間に分け2016年度第1回スキルアップ研修会を開催しました。年齢構成としてはユース審判員からベテラン審判員、また、男子、女子の区分無く多くの審判員に参加していただいたことに感謝申し上げます。研修会前半の座学研修ではチームビルディングを目的としたアイスブレイク、グループワーク『信頼される審判員』、競技規則プレゼン、後半の実技研修ではウォーミングアップから始まり、プラクティカルTRとして『FKコントロール』、『主審と副審の協力』の2項目について実施しました。座学研修、実技研修のいずれにおいても疑問点の解消、問題点および情報の共有ができ良い研修会になったのではないかと思います。これからも多くの試合が開催される予定ですので、今後も審判活動にご協力をよろしくお願いいたします。



## 木口 寛 インストラクターコメント

今回のスキルアップ研修会では、2つのセッションを担当させていただきました。座学では、第12条「ファウルと不正行為」のうち、相手競技者を押さえること(ホールディング)について、複数の映像をみて審判員と議論しました。直接FKを与える7項目の反則と異なり、プレーヤーが意図をもって行うホールディングは、多くの場合は、相手の大きなチャンスを妨害する状況で行われるので、懲戒罰の判断についても確認をしました。また、プラクティカルトレーニングで、「FKコントロール」をテーマとして実施しました。昨年度から何度か行っているトレーニングでしたが、審判員が行うステップを1つずつ再確認し、それを実戦形式でも慌てずにできるようトレーニングしました。参加した審判員から、常に前向きに取り組む姿勢が感じられたことはこの研修の成果だったと思います。夏の大会、そして秋のリーグ戦ではこの研修で学んだことを実戦し、選手から信頼される公平なレフリングを心がけてもらいたいと思います。

## 小原 泰裕 2級審判員コメント

今回のスキルアップ研修会を通して、改めて審判員としての資質・姿勢について深く考える機会となり、とても有意義なものとなりました。

前半の座学では、大平・木口INSによるプログラムで、審判員としての主体性や信頼性、チームワークを意識づけるイントロダクションを経て、「ファウルと不正行為」「FKコントロール」についての確認を丁寧に講義いただき、それらの重要性を再確認することが出来ました。その後の実技では、桜井INSから講義を受けた「FKコントロール」の実践と鮎貝INSによる「主審と副審の協力」の2つに取り組みました。理解はしていても試合で実践することの難しさを改めて実感し、「準備」をより一層意識して行いたいと考えました。

これらの経験から、今後は目線を上げ、モチベーションを高く持ち、審判員として自己研鑽に励みたいと思います。

## 平 大貴 2級審判員コメント

今年初めてのスキルアップ研修会でした。初めにアイスブレイクをやり【田】から多くの隠れている漢字を探すというワークで6人グループを作り案を出し合いました。一人では考えつかない考えも周りの人の意見を聞くと思いつくなど周りの人の意見や発想を聞くことの大事さを学びました。今回のスキルアップ研修会で学んだことはファウルにおいてcarelessとrecklessの違い、不用意なのか無謀なのか、また不用意とはなんなのか無謀とはなんなのかをもう一度再確認でき、これからの判定の際の見極めにとっても重要なものとなりました。また、試合においてその試合のゲーム内容のイメージや展開予想、それに伴ったポジショニングをとるなど、試合のプランを立てる重要さを学びました。プラクティカルトレーニングのFKコントロールでは飛び出しで笛を吹いたがボールはゴールインしたという場面に遭遇し、これは現実の試合でもあり得ることなのでボールの行方を最後まで確認することや正しく規則上通りルールを適用するという短い時間での判断が求められます。副審との協力では、目線やフラックテクニックなどを用いて、ゴールインの監視などもうまく行うことができました。今回のスキルアップ研修会では基本的なことから応用まで学ぶことができました。これからの審判活動に活かしていきたいです。

## 佐久間 文雄 3級審判員コメント

2016年度 第一回レフリースキルアップ研修会に参加出来たことに感謝します。特にアイスブレイクやコミュニケーションを高めるゲーム形式の座学は有意義に感じました。我々審判員として常に求められる課題でもある「信頼される審判員の要素」をグループメンバーで話し合えた事も貴重な時間でした。判定の領域では「ホールディング」について映像での確認後、ピッチでの実践的指導頂き、基本の大切さを改めて痛感致しました。今回の研修会でご指導頂きました鮎貝Sインストラクター、木口インストラクター・大平インストラクター・桜井インストラクターの皆様有り難うございました。今後ともご指導宜しくお願いします。